

# 22日 木曜

## 創世記

26:23 彼はそこからベエル・シェバに上った。

26:24 【主】はその夜、彼に現れて言われた。『わたしは、あなたの父アブラハムの神である。恐れてはならない。わたしがあなたとともにいるからだ。わたしはあなたを祝福し、あなたの子孫を増し加える。わたしのしもべアブラハムのゆえに。』

26:25 イサクはそこに祭壇を築き、【主】の御名を呼び求めた。彼はそこに天幕を張り、イサクのしもべたちは、そこに井戸を掘った。26:26 さて、アビメレクがゲラルからイサクのところにやって来た。友人のアフザテと、その軍の長ピコルも一緒であった。

26:27 イサクは彼らに言った。「なぜ、あなたがたは私のところに来たのですか。私を憎んで、自分たちのところから私を追い出したのに。」

26:28 彼らは言った。「私たちは、【主】があなたとともにおられることを確かに見ました。ですから、こう言います。どうか私たちの間で、私たちとあなたとの間で、誓いを立ててください。あなたと盟約を結びたいのです。」

26:29 私たちがあなたに手出しをせず、ただ良いことだけをして、平和のうちにあなたを送り出したように、あなたも私たちに害を加えないという盟約です。あなたは今、【主】に祝福されています。」

26:30 そこでイサクは彼らのために宴会を催し、食べたり飲んだりした。

26:31 翌朝早く、両者は互いに誓いを交わした。イサクは彼らを送り出し、彼らは平和の



聖書の記述

うちに彼のところから去って行った。

26:32 ちょうどその日、イサクのしもべたちが帰って来て、自分たちが掘り当てた井戸のことについて告げた。「私どもは水を見つけました。」

26:33 そこでイサクは、その井戸をシブアと呼んだ。それゆえ、その町の名は、今日に至るまで、ベエル・シェバという。

26:34 エサウは四十歳になって、ヒツタイト人ベエリの娘ユディトと、ヒツタイト人工ロンの娘バセマテを妻に迎えた。

26:35 彼女たちは、イサクとリベカにとって悩みの種となつた。

イサクの原点は神様による祝福の約束です。それゆえきんにも耐え、争いにも信仰で乗り越え、結果的に豊かにされたのです。私たちも神様からの約束をいただき、常にそれを心に留めたいものです。神様はご自身を愛する者には「全てのことが合い働いて益となる」と約束しておられます。

そしてイサクの行動の原点は祭壇による「礼拜」と、天幕で生活する「仕事と家族」です。これらを神様の喜ばれるように行っていきましょう。これまでアビメレク王という有力者に好きなように翻弄されてきたイサクでしたが、驚くようなことが起こりました。彼らがイサクの力を認めて、友好を求めて来たのです。それはイサクが争って勝ったからではなく、むしろ争わざとも結果的に祝福されたという、神の力の証しがあったからです。

クリスチヤンにも敵対者はいるでしょう。その場合、主イエスの十字架によって赦し、主の守りのゆえに御手に委ね、主のみわざを待つようにしてみましょう。主は生きておられるので必ず働いてくださるはずです。またはそれまでの苦しみを益としてくださるはずです。先ずは主に、どうすべきか聞きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

